

## 美術－5

### 「学校・アート・出会いプロジェクト」実施メニュー【基本案】

\* 内容は、事前打合せを行い各学校の状況に応じて変更を加えていきます。

#### ■ 基本情報

ジャンル	美術・工芸（造形）		
対象となる学年	小学校 1、2、3、4、5、6 支援学級 中学校 1 支援学級 特別支援学校（小・中）		
対象となる科目（例）	図工・美術		
実施可能地域	府内全域		
実施回数	1回 （複数に分けての実施も可能です）	1回の 所要時間	概ね45～90分
実施可能人数	数名から60名ほどまで（場合によっては60名ほども可能です。ご相談ください）		
実施団体 （個人の場合は講師名）	団体名 代表者名 東 明 担当者名		
連絡先 所在地等	〒615-8195 京都市西京区川島権田町21番11 TEL / 075-392-5039、080-5358-1189 FAX / 無し Email / akirahigashi8@gmail.com		
団体、講師の プロフィール	東 明（ひがし あきら）美術作家 1974年広島県生まれ、1998年京都市立芸術大学美術学部彫刻専攻卒業 膨らむ服の作品“パラフーク”など、鑑賞者が実際に関わることで成立する立体作品を制作する。京都市の現役小学校での滞在制作やケニアの市民と関わるアートプロジェクトなど各方面で活躍中。日本各地で子どもや親子向けのワークショップも開催している。 <a href="https://akirahigashi.com/">https://akirahigashi.com/</a>		
実施可能な 時期（期間）	体全体を使った活動が多いため、7～9月の暑い時期は避けたいです。4～6月、10、11月が最適ですが、冬場も可能です。		

## ■ 実施内容

<p>対象となる プログラム</p>	<p style="text-align: center;"><b>体験</b></p>
<p>テーマ (タイトル)</p>	<p>“手とからだの冒険” 不思議なアート体験と工作</p>
<p>趣旨・目標 ねらい</p>	<p>身体を使うことで初めて成立する体験型アートや、紙やビニールを材料にした服や帽子づくりなどの工作を体験することによって、改めて自分自身を意識し、その自分自身と世界の面白さが接続していることを体感してもらうことをねらいとします。その結果として、体験した人の自信につながり、さらに他者の理解にも繋がると良いです。</p>
<p>全体計画 (案)</p>	<p>複数の活動プログラムがあります。実施内容は、一つだけのプログラムから複数の組み合わせまで、ご相談いただけます。</p> <p>■ 体験型アートプログラムの例</p> <p>《パラフック》 東の作品である、布でできた膨らむ服で遊びます。服を着用し、内部に空気を送り込むと、バルーンのように膨らみます。膨らんだ服の中に友達が入ったり、工夫して歩いてみたり、遊びながら身体を通したアート鑑賞を行います。</p> <p>《円錐パラシュート》 東の作品である、様々な大きさの円錐形に膨らむパラシュート（バルーン）作品を使って遊びます。大きなものは内部に数人入ることができ、一人で遊んだり、友だちと協力して遊んだり、児童生徒それぞれの個性に合わせた関わり方で遊ぶことができます。</p> <p>■ 工作プログラムの例</p> <p>《あたまのうえのチョーク》 色画用紙や美術館のチラシなどを使って、かぶることのできる帽子のような作品をつくります。場合によっては、材料を選んで貼るだけで作品にすることもできますので、肢体に不自由のある方でも活動が可能です。</p> <p>《ペーパーファッション》 クラフト紙などを使って服をつくります。少し難易度が高く時間もかかりますが、ベスト（チョッキ）型に限定するなど工夫することで、小学校低学年でも活動することができます。小学1年生に向けて実施した実績もあります。</p> <p>《ビッグフット》 クラフト紙を使って大きな足のような靴のような作品をつくる活動です。できあがったら実際に履いて歩きます。両足分つくと</p>

	<p>時間がかかりますが、小学2年生60名に向けて実施した実績もあります。</p> <p>※工作に関しては、工夫すること、アイデアを共有すること、身体全体で感じながら活動することを重視しており、図画工作の内容に近いものになります。どれも作品の持ち帰りが可能です。</p> <p>■ 造形遊びのようなアート体験の例 《アナフーク》 最初に穴がたくさん空いたシートを着用し、そのシートにフェルトやビニール、紐などの様々な材料を、思い思いに取り付けて、自分自身をアレンジして飾る遊びです。できあがったら写真を撮影し、後日プリントしてお渡しします。作品の持ち帰りはできません。造形遊びに近い活動です。</p> <p>■ スケジュールの例 《パラフーク》《円錐パラシュート》《あたまのうえのチョコク》のセットを90分で実施する場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶、自己紹介（5分）</li> <li>・パラフークと円錐パラシュートの説明（3～5分）</li> <li>・パラフークと円錐パラシュートで自由遊び（25～30分）</li> <li>・休憩（5分）</li> <li>・工作の手順などの説明（5分）</li> <li>・工作（40分ほど）</li> <li>・終わり挨拶（3～5分）</li> </ul> <p>《ペーパーチョッキ（紙の服工作）》だけを90分で実施する場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶、自己紹介（5分）</li> <li>・服工作の手順など説明（5～10分）</li> <li>・工作（30分）</li> <li>・休憩（5分）</li> <li>・アイデア共有（5分）</li> <li>・工作（25分ほど）</li> <li>・ファッションショー（5～10分）</li> <li>・終わり挨拶（3～5分）</li> </ul>
<p><b>実施場所</b></p>	<p>体育館や講堂など天井が高くて広い床のある部屋が理想です。屋外での実施は不可となります。</p>
<p><b>講師等</b></p>	<p>講師1名（東 明）、スタッフ2～3名（美術作家、芸術・教育系大学生など）</p>

<p>備 考</p>	<p>・ 必要な備品、設備等 大きな鏡があると良いです マイク、スピーカー</p> <p>・ その他留意点 身体に障害をお持ちの児童さんでも参加が可能なアート体験や工作のプログラムも用意できます。</p>
------------	--